

要望書

球磨川水系の抜本的な治水対策の強力な促進について

- 球磨川水系流域治水プロジェクトの強力な推進と
球磨川水系河川整備計画の着実な実施
- 八代市萩原地区における堤防補強対策の促進
- 球磨川河口域の堤防高潮対策・耐震対策の促進
- 河川内の堆積土砂撤去及び樹木伐採等適切な維持管理の実施
- 河川整備に必要な財源の安定的な確保及び人員体制の充実



令和2年7月豪雨 JR 肥薩線坂本駅前

令和6年7月
熊本県八代市
球磨川下流改修期成会

球磨川水系の抜本的な治水対策の強力な促進について

球磨川河川改修事業につきましては、かねてより特段のご理解とご高配を賜り、衷心より感謝申し上げます。また、令和2年7月豪雨に際しては、発災直後から、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）やリエゾン（災害対策現地情報連絡員）の派遣、迅速な災害復旧及び堆積土砂の撤去など、全力で災害対応にご尽力いただき、重ねて感謝申し上げます。

球磨川は、流域面積、流路延長ともに九州第三位の大河で、日本三急流の一つに数えられる急流峡谷を形成する一級河川です。その下流域に位置する八代市は、古来より球磨川水系の織り成す豊かな自然と、その自然に育まれた独自の文化、自然の恵みを基盤とした各種産業によって発展を遂げてきました。

しかし、この多くの恵みをもたらす豊かな球磨川も、「令和2年7月豪雨」では、流域住民の尊い人命や貴重な財産を奪い、戦後最大とされてきた「昭和40年7月洪水」をはるかに上回る災害となりました。本市においても坂本地区を中心に甚大な被害を受け、未だ元の生活に戻ることができない住民も多く、将来への不安を抱えながら生活しております。

一方で、球磨川下流域の平野部におきましては、これまでも国土交通省のご尽力により市内の堤防も質的対策を除きおおむね整備され、各事業を順調に進めていただいております。今後、被災地域を含む流域全体の住民の生命と財産を守るためには、球磨川水系流域治水プロジェクトを強力に推進するとともに球磨川水系河川整備計画を着実に実施していく必要があります。

また、流域住民が将来に向かって安全・安心に暮らすためには、国による重点的な支援が必要不可欠であります。

つきましては、下記の事項について、特段のご高配を賜りますようお願いいたします。

記

1. 球磨川水系流域治水プロジェクトの強力な推進と

球磨川水系河川整備計画の着実な実施

令和2年7月豪雨からの早急な地域社会の復興に向けて、地域住民が将来に向かって安全・安心に暮らせるよう、流域全体で取り組んでいる球磨川水系流域治水プロジェクトを強力に推進するとともに、球磨川水系河川整備計画を着実に実施していただきますようお願いいたします。

治水安全度の向上のため、現在実施していただいている河道掘削や輪中堤・宅地かさ上げ等の治水対策について、流域住民が安心して暮らせるよう、創造的復興に向けたまちづくりと連携して着実に実施していただきますようお願いいたします。

2. 八代市萩原地区における堤防補強対策の促進

萩原堤については、堤防背後に八代市街部が広がっており、さらに九州の物流の骨格を担う国道3号、JR鹿児島本線、JR肥薩線及び肥薩おれんじ鉄道も控えていることから、堤防が決壊した場合、市民生活に深刻な支障を来すことはもとより、熊本県経済全般にも大きな打撃を及ぼすおそれがあることから、地域住民の洪水被害からの不安を解消するため、堤防補強の実施に向け、一層のご配慮をお願いいたします。

3. 球磨川河口域の堤防高潮対策・耐震対策の促進

八代市においては、平成19年度の鼠蔵地区高潮対策事業の完成により、河口域の堤防高確保は完了しておりますが、堤防法面の一部についてはコンクリートブロック等で被覆されていないことから、法面被覆等の高潮対策の促進をお願いいたします。

さらに、大規模地震時に堤防が沈下し、浸水等の二次被害が発生する可能性がある区間については、耐震対策の促進をお願いいたします。

4. 河川内の堆積土砂撤去及び樹木伐採等適切な維持管理の実施

河川内の堆積土砂及び樹木については、治水機能を最大限に発揮するための撤去や伐採等適切な維持管理を実施するとともに、実施に際しては、魚類等の生息環境や景観、水辺空間の利活用等にご配慮をお願いいたします。

5. 河川整備に必要な財源の安定的な確保及び人員体制の充実

近年、毎年のように全国各地で広域的かつ同時多発的に水災害が発生していることを踏まえ、災害時の迅速かつ確実な対応はもとより、災害からの復旧・復興や河川整備を着実かつ的確に実施するため、必要な財源を安定的に確保していただくとともに、地方整備局の人員体制を拡充していただきますようお願いいたします。

さらに、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を確実に推進していただくとともに、5か年加速化対策後も、引き続き様々な自然災害に備えるため、継続して予算を確保し、計画的に国土強靱化を推進していただくようお願いいたします。

令和6年7月

八代市長

中村博生

球磨川下流改修期成会

会 長

中村博生